

リーディング大学院認定式 リーディング院生代表挨拶 2015

東北大学リーディング大学院新入生のソ・リョウと申します。新入生代表としてご挨拶させていただくことを、誠に光栄に存じます。よろしく願いいたします。

長い冬を超えて、すべてが若返る季節がいよいよやってきました。

東北の大地も三月の風に吹かれ、段々暖かくなっています。桜が舞う季節に、東北大学リーディング大学院認定式が開催され、私は新たな一步を踏み出すことができました。

私は仙台が好きで、仙台の風景がすきで、仙台の友好な人たちも好きです。食べ物もおいしく、私にとって本当に「仙台」という名前のように神さまが住む場所みたいな存在です。しかし、神さまであっても、自分の家を守れない場合があります。2011年3月11日に東日本大震災という世界レベルの地震が起き、仙台は甚大な被害を受けました。しかし、驚き、悲しみ、怒りといった感情を乗り越え、東北の人々は東北復興に向かって頑張ってきました。

四年間、メディアで流れる情報はいつも「震災の復興は一刻も早く」です。一度私がボランティアとして震災地に行った時、仮設住宅の人たちと「お互いに頑張りましょう！きっといい未来があるよ！」と熱くお互いに励まし合いました。しかしその後、自分は津波が襲った傷跡があるままの土の上に立って無言になりました。

そして、仙台在住の外国人として私は「この災害で被害を受けた人たちのために何ができるのか？」と自分自身に聞きました。迷いの最中、私はリーディング大学院安全学プログラムに応募しました。というのは、東日本大震災の後に開設されたこのプログラムにおいて震災地の復興のため、様々な科学分野の力で貢献する一方、日本社会の核心的な問題—高齢少子化・過疎化、また資源配分問題、経済復興などの問題の対策を研究したいからです。また、リーディング大学院はグローバル化を目指して進んでいますから、世界中の知識を学べるチャンスを私たちにくださるでしょう。

リーディング大学院のもう一つ目標は安心・安全の社会を作り、グローバルリーダーを育てることです。正直、リーダーという単語はなかなか意味深いと私は思います。正しい知識を皆に伝えて、社会秩序の維持に貢献があり、人々に愛され、信頼され、崇敬される人間は、本当に社会・集団の安定に役に立つと言えるか考えました。残念ながら、結果はまだ分かりません。そのため、リーディング大学院で勉強しながら、答えを探したいと思います。東北から発足して新たな時代を開き、日本の未来を支えて、本当の「安全・安心」の時代が来るまで、ずっと努力を続けていきたいと思います。

最後になりましたが、リーディング大学院の先生をはじめ、プログラムを運営するスタッフさんたちに心より感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございます。

以上で私の挨拶を終わります。

ご清聴どうもありがとうございました。

平成27年4月1日

リーディング大学院グローバル安全学トップリーダー育成
プログラム新入生代表 蘇 亮